2015 防災特集

エーティーエム建築

住むだけで健康になる家づくり

笹川晋也社長に聞く

地域密着の設計工務店「エーティーエム建築」（笹川晋也社長）は昨年11月、本社を橿原市から奈良市三条大路に新築・移転した。これまで、地震に強いSE構法・重量木骨の家づくり、自然素材断熱材セルロースファイバーを使った自由設計長期優良住宅で実績を重ねており、これからは「住むだけで健康になる家づくり」がテーマになるという。これからの家づくりについて笹川社長にお話をうかがった。

奈良に本社移転 SE構法で新築

―奈良市に本社を移転されました。

笹川　本社ビルは阪奈道路沿いにあるので、車窓からもよく見えますが、外見からは木造には見えないと思います。実は木造3階建て延べ床面積約193平方㍍の建物でSE構法で建てられており、長期優良住宅にも認定されています。地震に強い大空間の家づくり、優れた断熱性能で快適な空間を実感してもらえるようにしました。

1階はショールーム兼商談スペース、2階は事務室、3階は会議室などのスペースになっています。3階は営業していない水曜日には地域の皆様に開放して、ハーブカフェやプリザーブドフラワー教室などのイベントスペースとして活用いただいています。お気軽に本社にお立ち寄りいただければと思います。現在、設計スタッフも募集しています。

木造2階建ては安全性確認なし

―これまで、地震に強い家づくりを進めてこられました。

笹川　阪神淡路大震災や東日本大震災で、私たちは地震の恐ろしさを経験しているはずなのですが、日本の住宅の耐震化は進んでいません。

日本では明治以降、死者1000人以上になった大地震が約10年に1回は起こっている計算になり、地震が多すぎる国といえるかもしれません。今後の地震予測では、周期的に起きている東海地震、東南海地震、南海地震はあす起きても不思議ではない状態にあります。

そして、阪神淡路大震災では、建物が原因となった犠牲者は犠牲者全体の83・3％、火災による犠牲者を加えると95％以上が倒壊した建物による死者です。本来命を守るべき自宅が凶器となってしまったのです。

こうした中、建物の耐震化が注目を集めるようになりました。建築基準法では、1981（昭和56）年に「新耐震基準」が設けられました。具体的にどのようなものか説明すると、一次設計で「許容応力度計算」を行います。これは「中規模の地震動ではほとんど損傷しない」ことを検証します。さらに二次設計で「保有水平力計算」を行います。これは「大規模な地震動で倒壊、崩壊しない」ことを検証します。いわゆる「構造計算」によって建物の強度や安全性が文字通り計算できるようになっています。このため日本は地震国でありながら、耐震技術で世界トップレベルのものをもっています。

そこで、ほとんどの方は1981年以降の建物は「新耐震」だから安全だと思っておられることでしょう。しかし、建築基準法では3階建て以上や大きな木造住宅を「構造計算を必要とする建築物」に指定する一方で、2階建て木造住宅はこれに含まれていません。つまり、多くの住宅は新耐震以降であっても構造計算されていない、つまりは安全性が確認されていないものに住んでいることになります。

新耐震基準適用 一般住宅にも

―では、地震に強い家づくりはどうしたらよいのでしょう。

笹川　まず、一般的な木造住宅にも新耐震基準を適用すべきではないでしょうか。大地震が起きても安心できる家づくりが必要です。建設業界全体として耐震性の高い木造住宅を供給し、「旧耐震」で建てられた建物の改築・改修を促していくことが求められます。

これから家を建てられる方も耐震に関心を持ち、構造計算をして地震に負けない家づくりを考えてほしいと思います。正しく計算することで大きな空間・間取りも実現できます。

ささがわ・しんや　エーティーエム建築代表取締役、ＮＰＯ法人日本建築お悩み相談理事長。『失敗しない家づくり』のために著作３冊。『報道ステーション』などにも出演

安心の家

地震に強いを追求

木造３階建てで長期優良住宅でもある本社外観＝奈良市三条大路

イベントスペースとして開放されている本社３階

快適な家

自然の力を利用

省エネで快適にパッシブハウス

―次に、快適な家づくりについてうかがいます。

笹川　構造計算による安全性の保証に加えて、私たちは省エネで快適な家づくりにも取り組んでいます。

冷暖房や換気などの設備を使って快適性をつくるために締め切った生活をする、いわゆるアクティブハウスというものがあります。

これに対して、自然をそのまま使い、温熱計算して建てる住宅、すなわち自然の力で快適性をつくる住宅を、環境を受動的に受け取るパッシブハウスといいます。設備でつくる快適性を最小限にする考え方で開放的な生活をする住宅です。そのためには自然の力を効率的に利用する温熱計算のスキル、つまり、四季や地域、立地で異なる日射や風通しをコントロールする知恵と技術が必要となりますが、エアコンへの依存を減らして省エネで健康的な過ごし方ができます。こうした自然の力を利用した住宅では、断熱性能が重要な役割を果たします。断熱材も火災に強い難燃性のもので、自然素材が優れています。

本社・階ショールーム

健康な家

生活の水を変える

マイクロバブル使用しきれいに

―「安心の家」「快適な家」に続く次のステップは。

笹川　家づくりは「雨・風をしのげる」ものから、「地震に強い安全・安心な家」「断熱に優れ、静かで省エネの快適な家」へと変わってきました。「住むだけで健康できれいになる家」を目指しています。

そこで、今年7月から「マイクロバブル」（超微細気泡）を使った入浴装置や浄水器などを開発したメーカーと提携して、これらを標準装備した家づくりを進めています。暮らしに欠かせない水を変えることで、より健康できれいな生活が実現できると考えています。

マイクロバブルは、水と空気でつくる微細な泡が洗浄力などを発揮して安心・安全な水を供給すると同時に、入浴では美肌やリラックス効果などが期待できます。つまりご家庭のバスをエステのようにできるのです。

マイクロバブルの効果については、水産物のカキの洗浄に使われたり、芸能人が美容のために使っている姿がテレビなどでも紹介され注目を集めています。本社のショールームでもマイクロバブルを体験できる装置がありますので、洗浄や美肌などの効果を体感していただけたらと思います。

ショールームではマイクロバブルの洗浄力や美肌効果を体感できる

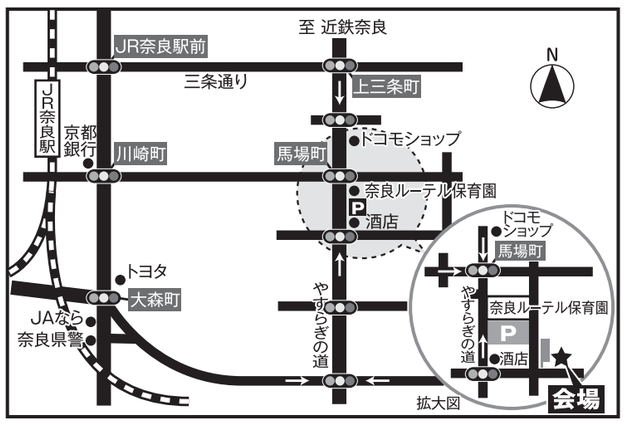
完全予約制

比較完成見学会開催

■日　時：９月12日（土）・13日（日）11時～15時
■場　所：奈良市南袋町12
■駐車場：近くのコインパーキングを利用
　　料金はエーティーエム建築が負担

エーティーエム建築の施工例

ご予約・問い合わせは
電話0742（93）4500　ＦＡＸ0742（93）4501
または　e-mail:office@atm-home.co.jp



家を建てる前に！

あなたが近い将来や、いつかは家を建てたいと思っているならご紹介したい本があります。

この本には、土地の正しい買い方、住宅ローンの正しい組み方、そして、住宅メーカーや工務店の正しい選び方など住宅に関する様々なことが書かれています。著者は一級建築士であり、宅地建物取引士である、奈良県在住の笹川晋也です。

失敗しない、後悔しない家づくりをするために、たった1時間程度で読めるこの本を読まずに家づくりをしないでください。

私どもエーティーエム建築では、これから家づくりで失敗する人が少しでも少なくなるように家づくりで為になる本を無料で差し上げています。

お気軽に請求してください、もちろん請求したからといって、営業や電話をかけることはありません。

お申し込みは今すぐ、「家づくりの本」希望と、電話・FAX・Eメール・QRコードのいずれかの方法で左記までご連絡ください。

申し込み先
株式会社 エーティーエム建築
〒630-8013 奈良市三条大路5丁目3番28号
電話 0742(93)4500
FAX 0742(93)4501
E-mail office@atm-home.co.jp